



2020年2月6日

各位

会社名 **ビジネスエンジニアリング株式会社**
 代表者名 取締役社長 大澤 正典
 (コード番号 4828 東証第一部)
 問合せ先 常務取締役 別納 成明
 電話 03-3510-1600

通期業績予想および配当予想の修正（増配）ならびに 特別損失の計上に関するお知らせ

2019年5月15日に公表いたしました2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の連結および個別の通期業績予想ならびに1株当たり配当予想につき、下記のとおり修正するとともに、2020年3月期第3四半期において下記のとおり特別損失（投資有価証券評価損）を計上いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年3月期 通期業績予想の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	16,000	1,330	1,330	820	139.47
今回修正予想 (B)	17,200	1,550	1,550	840	142.92
増減額 (B - A)	1,200	220	220	20	
増減率 (%)	7.5%	16.5%	16.5%	2.4%	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	15,253	1,208	1,202	804	142.17

(2) 個別業績予想

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	15,600	1,230	740	125.86
今回修正予想 (B)	16,800	1,380	700	119.10
増減額 (B - A)	1,200	150	△40	
増減率 (%)	7.7%	12.2%	△5.4%	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	14,940	1,085	679	120.10

(3) 修正の理由

連結業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間の売上が計画を上回ったことに加えて、第4四半期売上計上予定案件の受注が計画を上回ったことから、売上高は前回業績予想を上回る見込みです。利益面につきましても、売上高増加による利益増を主因に前回業績予想を上回る見込みです。売上高 17,200 百万円（前回業績予想比 1,200 百万円増）、営業利益 1,550 百万円（前回業績予想比 220 百万円増）、経常利益 1,550 百万円（前回業績予想比 220 百万円増）となる見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益は、「3. 特別損失（投資有価証券評価損）の計上」に記載の投資有価証券評価損の計上があるものの、前回業績予想を上回る 840 百万円（前回業績予想比 20 百万円増）となる見込みです。

個別業績予想につきましては、第3四半期累計期間の売上が計画を上回ったことに加えて、第4四半期売上計上予定案件の受注が計画を上回ったことから、売上高は前回業績予想を上回る見込みです。経常利益につきましては、売上高増加による利益増により前回業績予想を上回る見込みですが、「3. 特別損失（投資有価証券評価損）の計上」に記載の投資有価証券評価損の計上により、当期純利益は前回業績予想より減少する見込みです。売上高 16,800 百万円（前回業績予想比 1,200 百万円増）、経常利益 1,380 百万円（前回業績予想比 150 百万円増）、当期純利益 700 百万円（前回業績予想比 40 百万円減）となる見込みです。

2. 2020年3月期 期末配当予想の修正

(1) 修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2019年5月15日 公 表)		19 円 00 銭	38 円 00 銭
今 回 修 正 予 想		24 円 00 銭	43 円 00 銭
当 期 実 績 (2020年3月期)	19 円 00 銭		
前 期 実 績 (2019年3月期)	13 円 00 銭	30 円 00 銭 ※	43 円 00 銭

※ 2019年3月期の期末配当 30 円は、記念配当 5 円を含んでおります。

(2) 修正の理由

当社は、当社を取り巻く事業環境の見通し、業績見込み、当社の財務体質等を総合的に勘案して、株主への利益還元に努めております。

株主還元は、配当金の支払いにより行う方針であり、安定的な配当の継続に努めるとともに、連結配当性向が中長期的に 30%を上回るよう努めることを基本的な方針としております。

2020年3月期の期末配当予想につきましては、上記の基本的な方針と通期業績見込み等を勘案し、直近の期末配当予想 1 株につき 19 円に対し 5 円増配し、1 株につき 24 円に修正いたします。

3. 特別損失（投資有価証券評価損）の計上

当社が保有する投資有価証券について、取得価額に比べて時価が著しく下落したため、2020年3月期第3四半期において減損処理による投資有価証券評価損147百万円を計上いたしました。

以 上

（注）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。